



令和六年度

PTA活動報告（第十七号）



島根県立益田翔陽高等学校PTA

目次

卷頭言	「六年度PTA活動を振り返って」	3
卷頭言	「経験・体験から成長する」	5
令和六年度	PTA重点目標・PTA組織・PTA役員一覧	8
令和六年度	PTA事業報告	11
令和六年度	PTA役員会・正副会長会・各種委員会	12
委員会報告	生徒育成委員会報告	13
委員会報告	2024 翔陽祭PTAテント村について	14
委員会報告	広報委員会報告「PTA活動の魅力」	15
誠之寮保護者会	寮生活に感謝	16
美化活動	PTA美化活動に参加することで	17
大会報告	第66回中国・四国高校PTA連合会大会高知大会に参加して	18
第七十三回全国高等学校PTA連合会大会	茨城大会 大会要項	20
大会報告	第七十三回全国高等学校PTA連合会大会茨城大会に参加して	21

岡	山岡	大谷
晶史	二三男	佳司
	牛尾	久保
	佑美	裕二
	西田	晃一
	寺戸	慶子
	宮内	健臣
	水津	美香



令和六年度	翔陽祭プログラム	24
翔陽祭の様子		26
令和六年度翔陽祭PTA村		
本部役員	副会長 安野 祐紀子	28
益田・美都・真砂地区	会長 齋藤 紀貴	29
吉田地区	会長 岡 淳司	30
高津地区	会長 竹内 登世樹	31
安田・鎌手地区	会長 野村 知子	32
中西地区	会長 豊田 真由美	33
小野・萩地区	会長 岩崎 正子	34
西益田・匹見地区	会長 石橋 拓海	35
鹿足地区	会長 永見 友美	36
編集後記	広報委員会一同	37



巻頭言

六年度 P T A 活動を振り返って



P T A 会長 大谷 佳司

平素より本校学校教育並びに、P T A 活動にご理解ご協力頂き誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの感染症の分類が五類になり、年度初めより行動制限のない活動ができるようになりました。

今年度の P T A 活動は、重点目標を「P T A 組織の改革」（伝統を継承しつつ、時代の変化に対応できる組織に）、スローガンは「hand in hand」（子どもたちの未来を支えるために今できることを考えよう）でスタートしました。hand in hand とは【手をつなごう】という意味です。新型コロナウイルスも当初ほどの猛威も無くなり、通常の生活に戻ってきた今、生徒・保護者・学校が手を取り合い、協力して様々な活動ができればという思いを込めました。

P T A 活動では、広報委員会による活動報告「飛翔」を発行しました。たくさんの方に原稿を頂き、充実したものが出来たと思います。また、生徒育成委員会では、あいさつ運動や街頭指導、講師を招いての講演会を行いました。あいさつ運動では、生徒たちの大きな声を聞き清々しい気持ちになりました。P T A 美化活動では、休日にもかかわらず早朝よりご参加頂き、気持ちよく2学期を迎えることができました。大変ありがとうございました。綺麗になったグラウンドで行われた体育祭は、天候が心配されていましたが、平日にもかかわらず、保護者の方々もたくさん応援に来られました。三年生は最後の体育祭となりましたが、保護者の応援もあって大変盛り上がり、良い思い出になったと思います。益田翔陽祭 P T A テント村では、年度初めより、地区役員を中心に相談・企画してきました。たくさんの方に地区に出店いただき盛大に開催することができました。今年は、開村時間



を少し遅くしましたが、早朝よりたくさんの方々に来ていただきました。新型コロナウイルスによる中止から再開して三年目となりましたが、来場者も少しづつ増え、今年は他校の生徒さんの姿も見えるほどになりました。どのテントも完売し、大盛況で終えることができました。P T A本部役員テントでは焼き団子を出店しました。最初はうまく焼けませんでしたが、「あーだこーだ」と言いながら、楽しい時間を過ごすことができました。おかげさまで完売し感謝申し上げます。食中毒やコロナ関連でいろいろと制約がありましたが、大盛況に終わることができたのは皆様のアイデアとご協力によるものです。来年以降も、知恵を出し合い、より良いテント村の継続をお祈りしております。

私は今年でP T Aが最後となりますので、参加できるものはできるだけやってみようと思っていました。今年、益田翔陽高校は、島根県高等学校P T A連合会の評議員になっていることもあり、七月に中国・四国地区高等学校P T A連合会大会高知大会に参加しました。他県のP T A活動の発表を聞き、大変勉強になりました。前日は、島根県参加者の懇親会もあり、他校の会長さんとも交流でき、貴重な経験をすることができました。また、偶然高校時代の恩師にも出会い、参加して良かったと思いました。

P T A活動の最後に、会長という大役を務めさせていただき、小学校とも中学校とも違う貴重な体験をすることができました。これまで支えて下さった副会長をはじめ、役員の皆様、先生方、大変お世話になりました。ありがとうございました。

最後になりましたが、今年度のP T A活動に際しましてご参加頂いた皆様のご理解・ご協力に心から感謝申し上げます。

益田翔陽高校の益々の発展を祈念して巻頭言とします。ありがとうございました。

巻頭言



『経験・体験から成長する』

校長 山岡 二三男

今年度の翔陽祭は、十一月十五・十六日の二日間の日程で行われ、一日目は、生徒の平素の活動の発表・展示を中心に、二日目は、各学科・クラスによる販売や模擬店、企画展示、そして生徒会イベント等が行われました。二日目は天気にも恵まれ、来校された地域の方々にも喜んでいただいていたと思います。そしてPTAの皆様には、PTAテント村を開催していただき九つの屋台が出店され大いに翔陽祭を盛り上げていただきました。生徒たちにとって忘れられない翔陽祭になったと思います。この場を借りて改めて御礼申し上げます。

ところで農産物・加工品販売では、一生懸命に作った生産物・加工品を、どうしたら地域の方に喜んで頂けるか自分たちなりに考えながら販売を行っていました。お客様の質問に対し笑顔で丁寧に説明する姿や、朝早くから並んでおられるお客様に対し「申し訳ありません、もう少しお待ちください」と声をかけている姿などを見ると、生徒は普段の授業や実習では体験できない貴重な経験をさせていたいているなど改めて思いました。また、購入した荷物の多さを見て、自ら「お持ちしましょうか」とお客様に声を掛け、農場から工業棟の駐車場まで荷物を運んでいる生徒の姿を見て、与えられていたことをこなすだけでなく、自分で考え判断・行動し、様々な人ときちんと関わることでできる力の大切さに改めて気づかされました。現三年生から高校で実施されている新学習指導要領では、生徒の皆さんに身に付けて欲しい力として次の三点を示しています。一つ目は、何を理解し、何ができるのか。生きて働く「知識・技能の習得」です。二つ目は、理解していることやできることをどう使うか。どの状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力の育成」です。三つ目は、どのように地域や社会とかが

わり、よりよい人生を送るか。学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性の涵養」です。このことは、自動車学校で例えると、「知識・技能」の習得は、学科教習や模擬運転教習で、「思考力・判断力・表現力」は、教習場内の技能教習で養われ、それらをクリアして「学びに向かう力・人間性の涵養」は、場外に出るの路上教習、仮免許、卒業検定です。そのように考えると、翔陽祭の販売活動は生徒が思考力・判断力・表現力を駆使しながら「学びに向かう力・人間性の涵養」を身につける貴重な経験であったといえるのではないのでしょうか。

さて、益田翔陽高校は、県西部の専門教育をリードするリーディングスクールとして頑張っているところが、専門高校である益田翔陽高校のミッションとはどのようなものでしょうか。益田翔陽高校の目指す学校像・生徒像は次のようなものです。

(1) 「汗と感動と挑戦があふれる学校」

(2) 「総合的な人間力を身につけ、自立して社会貢献できる職業人の育成を目指す学校」

ここには、益田翔陽高校の教育の目標は「人格の完成」であること、そして専門的な知識・技能、そして積極的に経験・体験活動に取り組むことにより社会で活躍できる実践力を身につけ、自ら社会や地域に貢献しようとする人物を育成することが述べられています。学校行事、部活動、課題研究、そして地域協働活動やボランティア活動、日々の授業など、益田翔陽高校は様々な体験・活動に満ちています。生徒一人ひとりが積極的に活動・体験に取り組むことで新たな発見をし、成長してほしいと願っています。

最後になりますが、PTA活動は、保護者・家庭と教職員が協働する、子どもたちの自立と幸福を願い、手を携えて活動する場です。PTA活動を通して我々も成長できるのではないかと思うのです。どうか今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

※次の写真は、十月三十日に総合学科の生徒と小学生、高津中学校の協力で行われたハロウィンパーティーの様子です。



令和6年度 PTA 重点目標及びスローガン

重点目標：PTA 組織の改革

(伝統を継承しつつ、時代の変化に対応できる組織に)

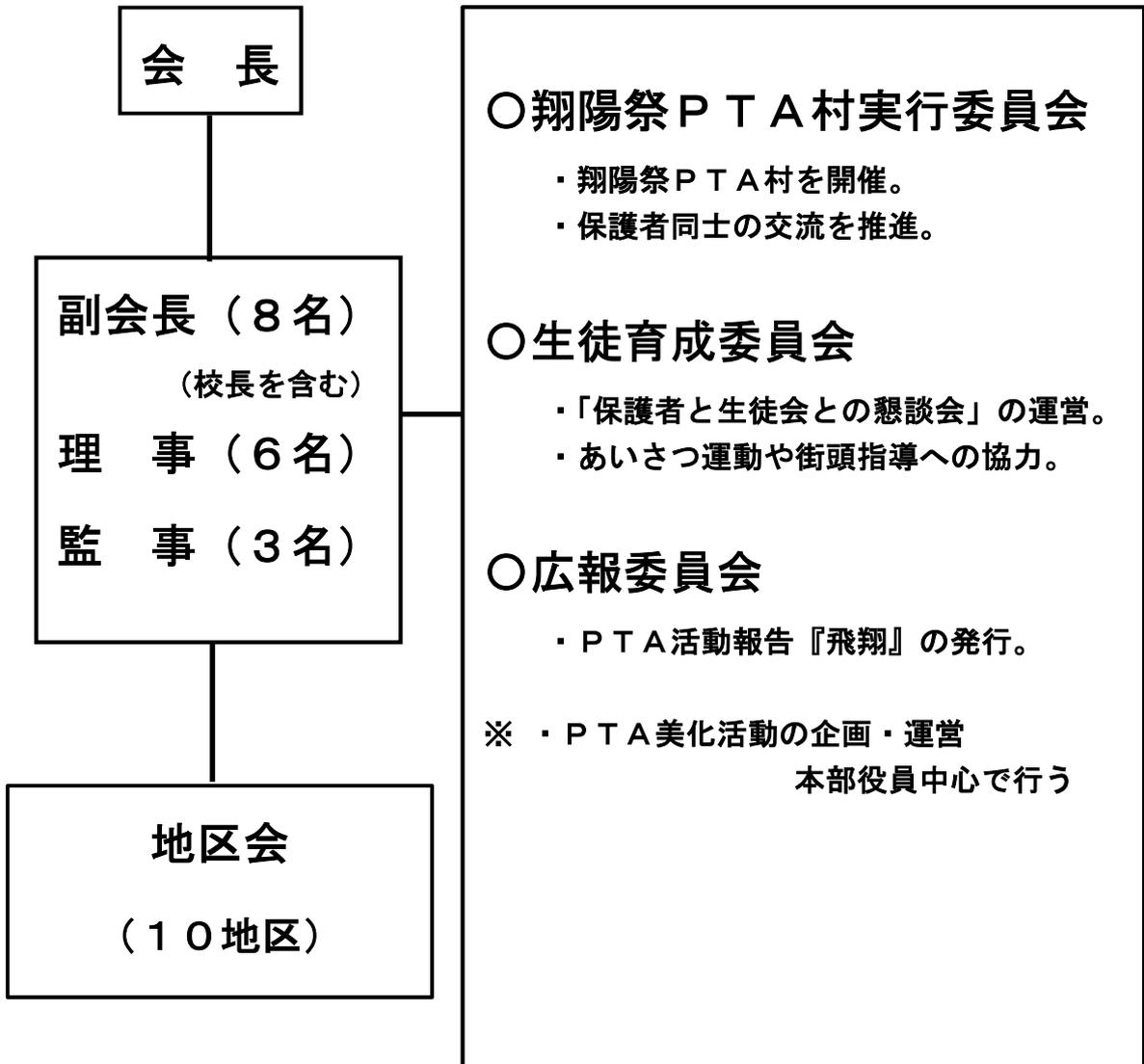
スローガン:「 hand in hand 」

～ 子どもたちの未来を支えるために今できることを考えよう ～

- 取組み
1. 学校と保護者【情報の早期共有と保護者の意識改革】
 - 情報の強力発信(ホームページ更新、さくら連絡網配信)
 - 情報の積極受信(ホームページ閲覧、さくら連絡網登録100%)
 - 双方向でのシステム最大限活用(アンケート、出欠確認)
 - イベントや講演会等への積極参加・協力
 2. 生徒と保護者【人との関わり、社会に出るためのステップ】
 - あいさつ(マナーの向上・コミュニケーション力のUP)
 - 身だしなみ(服装や髪型<清潔感>、
人前でのふるまい方や心がけ<モラルを守る>)
 - 交通ルール(自転車での「ながら運転」をしない、させない)
 3. PTA【つながりのある活動・協力体制】
 - 委員会活動への積極的な取組と事業の成功
 - 保護者、教員、学校の相互理解と共同を目指す
 - 教育環境の整備及び充実へ向けた支援
 - 学校の進路指導の支援
 - 部活動や学校行事における生徒の頑張りを支援
 - 地区会の平準化と活性化
 - (格差是正、ネットワークの拡大、コミュニティの充実)

島根県立益田翔陽高等学校

令和6年度PTA組織図



令和6年度 益田翔陽高等学校PTA役員一覧

本部役員			地区役員		
役職	氏名	地区	地区	会長名	副会長名
会長	大谷 佳司(A3)	西益田・匹見	益田・真砂美都	齋藤 紀貴(G2)	俵 宏志(G3)
副会長	柴田 智明(S2)	高津	吉田	岡 淳司(G3)	川崎 紀子(G3)
副会長	齋藤 伸夫(G3)	西益田・匹見	高津	竹内 登世樹(A2)	岡崎 泉美(E3)
副会長	安野 祐紀子(G2)	吉田	安田・鎌手	野村 知子(G2)	山形 圭(S2)
副会長	久保 裕二(A2)	益田・真砂・美都	中西	豊田 真由美(A3)	竹内 直樹(A2)
副会長	宮内 健臣(A1)	小野・萩	小野・萩	岩崎 正子(S2)	石橋 真子(G2)
副会長	寺戸 慶子(S1)	益田・真砂・美都	西益田・匹見	石橋 拓海(A3)	西代 貴(G2)
副会長	水津 美香(S1)	益田・真砂・美都	三隅	佐々木 正志(A3)	玉田 幸子(E3)
副会長	山岡 二三男	校長	浜田	西田 晃一(E3)	
監事	山本 浩夢(A3)	益田・真砂・美都	鹿足	永見 友美(A3)	寺戸 直子(G2)
	齋藤 貴志(E3)	高津	校内理事	教頭 : 城市 直貞 事務長 : 藤原 健司 総務部長 : 山平 恭史 教務部長 : 椋木 達彦 生徒部長 : 又賀 智和 進路指導部長 : 谷口 和也 農場長 : 田原 伸治 総務部員 : 横山 孝三 : 水上 恭司 : 上黒 光一 : 岡 晶史 : 岡島 崇 : 山崎 真伍 : 吉村 翼 : 今岡 啓吾	
	岡崎 哲之(A1)	吉田			
理事	花房 律子(S2)	吉田			
	築迫 裕子(S2)	吉田			
	俵 正光(G2)	安田・鎌手			
	青木 明子(S2)	中西			
	内村 実(G2)	小野・萩			
大原 和美(E3)	三隅				

令和6年度 P T A 事業報告

- 4月11日（木）第1回正副会長会
4月18日（木）第2回正副会長会、第1回P T A役員会（新役員）、
第1回各委員会 <会計報告・P T A総会など>
5月11日（土）令和6年度P T A定例総会
5月18日（土）高P連第1回評議員会（江津市総合市民センター）
5月20日（月）第1回街頭指導
～24日（金）
6月 8日（土）令和6年度高P連総会（県民会館）
6月29日（土）全国高P連総会（東京）
6月28日（金）翔陽祭P T A村実行委員会
7月12日（金）中・四国地区高P連大会高知大会（高知市）
8月 8日（木）第3回正副会長会 P T A美化活動について
翔陽祭P T Aテント村の運営について
8月22日（木）全国高P連茨城大会（水戸市）
～23日（金）
24日（土）P T A美化活動
8月29日（木）第2回生徒育成委員会
9月 9日（月）挨拶運動
～13日（金）
9月13日（金）翔陽祭P T Aテント村実行委員会
9月28日（土）高P連第2回評議員会（あすてらす）
10月19日（土）高P連研修会（島根県民会館）
17日（木）第4回正副会長会・第2回P T A役員会<P T Aテント村開催など>
各委員会
15日（火）第2回街頭指導
～18日（金）
11月 6日（水）生徒と保護者の懇談会 講演会『自分らしく生きるって？』
講師：佐藤みどり氏
11月16日（土）翔陽祭P T Aテント村
11月30日（土）島根県幼・小・中・高特別支援P T A合同研修会（浜田市）
（令和7年）
2月14日（金）広報委員会
2月15日（土）高P連第3回評議員会（くにびきメッセ）
2月19日（水）第5回正副会長会
3月 1日（土）P T A活動報告誌「飛翔」発行
3月13日（木）第6回正副会長会・第3回P T A役員会

令和6年度 P T A役員会・正副会長会

役員会

<第1回>

1. 日 時 4月18日(木) 19:00～
2. 場 所 益田翔陽高等学校 工業棟実習室
3. 議 題 (1)令和5年度 事業・会計報告
(2)令和6年度 事業計画・会計予算
(3)令和6年度 P T A総会について
(4)会務・行事の確認
(5)各種委員会打ち合わせ

<第2回>

1. 日 時 10月17日(木) 19:00～
2. 場 所 益田翔陽高等学校 工業棟実習室
3. 議 題 (1)翔陽祭P T A村について
(2)次年度の役員について

<第3回>

1. 日 時 3月13日(木) 19:00～
2. 場 所 益田翔陽高等学校 工業棟実習室
3. 議 題 (1)令和5年度 活動報告
(2)令和6年度 P T A役員について
(3)令和6年度 P T A委員会について
(4)令和6年度 P T A予算案検討
(5)令和6年度 行事予定

正副会長会

<第1回>

1. 日 時 4月11日(木) 18:30～
2. 場 所 益田翔陽高等学校 応接
3. 議 題 令和6年度 P T A役員などについて

<第2回>

1. 日 時 4月18日(木) 18:00～
2. 場 所 益田翔陽高等学校 工業棟実習室
3. 議 題 第2回P T A役員について

<第3回>

1. 日 時 8月8日(木) 18:30～
2. 場 所 益田翔陽高等学校 応接室
3. 議 題 P T A美化活動について
翔陽祭P T Aテント村の運営について

<第4回>

1. 日 時 10月17日(木) 18:00～
2. 場 所 益田翔陽高等学校 図書館
3. 議 題 (1)翔陽祭P T A村の運営について
(2)次年度の役員について

<第5回>

1. 日 時 2月19日(水) 18:30～
2. 場 所 益田翔陽高等学校 工業棟実習室
3. 議 題 (1)P T A役員の選出について

<第6回>

1. 日 時 3月13日(木) 18:00～
2. 場 所 益田翔陽高等学校 工業棟実習室
3. 議 題 (1)P T A新役員について
(2)P T A役員会打ち合わせ

各 種 委 員 会

翔陽祭P T A村実行委員会

<第1回>

1. 日 時 6月28日(金)
2. 場 所 益田翔陽高等学校 工業棟実習室
3. 議 題 翔陽祭P T A村の運営について

<第2回>

1. 日 時 9月13日(金)
2. 場 所 益田翔陽高等学校 工業棟実習室
3. 議 題 翔陽祭P T A村の運営について(最終確認)

広報委員会

<第1回>

1. 日 時 4月18日(木) 役員会後
2. 場 所 益田翔陽高等学校 工業棟実習室
3. 議 題 今年度の活動について

<第2回>

1. 日 時 10月17日(木)
2. 場 所 益田翔陽高等学校 応接室
3. 議 題 P T A活動報告「飛翔」について他

<第3回>

1. 日 時 2月14日(金)
2. 場 所 益田翔陽高等学校 2階一般教室
3. 議 題 P T A活動報告「飛翔」の校正について他

生徒育成委員会

<第1回>

1. 日 時 4月18日(木) 役員会後
2. 場 所 益田翔陽高等学校 応接室
3. 議 題 生徒と保護者との懇談会
街頭指導・あいさつ運動

<第2回>

1. 日 時 8月29日(木)
2. 場 所 益田翔陽高等学校 応接室

<第3回>

1. 日 時 10月17日(木)
2. 場 所 益田翔陽高等学校 工業棟実習室

<第3回> 人権同和教育講演会(生徒育成委員会活動)

1. 日 時 11月6日(水)
2. 場 所 益田翔陽高等学校 体育館

街頭指導

8:00～8:35,駐輪場付近
5月20日(月)～24日(金)
10月15日(火)～18日(金)

あいさつ運動

8:00～8:35,昇降口付近
4月22日(月)～26日(金)
9月9日(月)～13日(金)



生徒育成委員会報告

生徒育成委員長 水津 美香

生徒育成委員会の今年度の活動として、「街頭指導」と「あいさつ運動」「人権同和研修」を実施しました。

街頭指導やあいさつ運動では、生徒達が友達と楽しそうに登校してくる様子や先生方との会話など、学校生活が垣間見られるようでとても良かったです。恥ずかしそうにあいさつをする生徒もいましたが、皆、気持ちの良いあいさつをしてくれ、一日の良いスタートとなりました。

また、人権同和研修では「LGBT」について学びました。多様な性を理解することで誰もが自分らしく生きることができるとして認識を深めるきっかけになったのではないのでしょうか。

今後とも引き続き、子ども達のために今できることを、多くの保護者の皆様と一緒に取り組んでいけるようPTA活動を実施していきますので、ご理解とご協力をよろしく願います。

一年間ありがとうございました。

下の写真は、

『多様な性を理解するために』と題して、

佐藤みづのんの講演より





2024 翔陽祭 P T A テント村について

P T A テント村村長 宮内 健臣

四月に長男が入学して高校の P T A 活動について何も分からない内に翔陽祭テント村村長に抜擢されました。

最初のテント村役員会は不安でしたが、昨年・一昨年とテント村を経験されている P T A 会長の太谷さんと P T A 副会長の斎藤さんを中心に会議をまとめていただきました。テント村役員会を重ねることに各地区役員の方々も疑問点や要望を次々と発言され、テント村を成功させたいという熱意を感じました。

昨年までテント村当日は天候が崩れる事が多いと聞いており雨の心配をしましたが、当日は雨も降らず過ごしやすい天候で翔陽祭を迎える事ができました。どの地区もスムーズに準備を進められていて、しっかりと話し合われてきた事が伝わりました。開村式前から大勢の保護者や地域の方々が来場されており、販売開始となると各地区のテントに行列ができ、とても大盛況でした。どのテントも活気があり生徒や保護者、地域の方々が笑顔で言葉を交わしたり楽しんでいる姿を見る事ができ、開催できて本当に良かったと思いました。

今年のテント村を振り返って、保護者が楽しく活動している姿を生徒達はきっと見ています。P T A 活動は大変な事もありますが保護者（大人）が楽しみながら活動すれば子供たちにも満足感や達成感が伝わると思います。私自身は村長としてあまり貢献できなかったですが P T A 役員、各地区の役員、



保護者の皆さんの協力のおかげで大盛況のうちに終了することができました。本当にありがとうございました。





広報委員会報告

PTA活動の魅力

広報委員長 寺戸 慶子

今年度、広報委員長を務めさせていただきました寺戸です。

広報委員の仕事は、保護者の皆様にPTA活動を書面ではありませんが、こんな事をしましたとか、活動に参加しての感想をまとめて知ってもらえる事です。

実は、広報委員長は初めてではなく、二度目になります。長男が一年の時にさせていただきました。まさか、長男が卒業して次男が入学してからも、PTAの活動に参加させていただけるとは思っていませんでした。内心、嬉しかったのが正直な気持ちです。長男の高校生活は、コロナ禍もあり、PTA活動が自粛という形で、あまり子供達との関りも少なく、この「飛翔」に関しても、何を載せて発行しようかと役員の皆様と悩んだ時もありました。

今年度は、コロナ規制も緩和されて、前まで出来なかった事が出来るようになってきたので、久しぶりの活動に参加が出来てよい一年になりました。PTA役員をさせていただいて良かった事は、学校と一緒にあって、子供達のことを考える事や活動が出来たことです。色んなご縁もあり、他の保護者の方々とも関わりあえて、自分にとっても良い経験が出来ました。P



TA役員と聞くと大変だろうなとか思いかもしれませんが。確かに仕事ながらの役員会や行事の準備は楽ではありません。ですが、子供の高校三年間とは、あっという間に過ぎていきます。役員をすることで、本校で学び立派に成長していく子の姿を間近に見て感じる事が出来る事が嬉しく思います。大変だけど、終わった後には達成感があり、やって良かったと思っています。自分がそこにいるから、「また役員をやるのかな」って思うんですよ。(笑)

最後にPTA通信「飛翔」の発行に際し、ご協力を頂きました皆様には感謝申し上げます。「飛翔」には様々な活動の報告が掲載されています。色々な思いがうまっているので、目を通していただけたらと思います。一年間ありがとうございました。



寮生活に感謝

誠之寮保護者会会長 西田 晃一

思い返せば三年前、大好きな野球をとことん出来る環境を選ぶのか、進学や就職を見越した進学先にするのか息子と一緒にとても悩んだことを今でも思い出します。

息子は中学で部活動には所属せず硬式野球のクラブチームに通い、週末にはよく県外へ遠征などに行っておりましたので、正直どこの高校の寮にお世話になっても、苦労はしないだろうとさほど心配はしておりませんでした。

益田翔陽高校を選んだ理由ですが、クラブチームの先輩がいること、寮があること、専用の野球練習場がとても立派であること、電気関係に興味があり、卒業後電気関係に進学、就職をしたいことなどを加味した上で、益田翔陽高校を受験することに決めました。

それまでは、勉強もろくにせず野球ばかりしていましたので、成績は良くはありませんでしたが、夏休み以降益田翔陽高校に入学したい一心で勉強を頑張り、合格することができました。

春になり入学式の日を迎え、入寮する息子の布団や生活道具など、車いすっぱいに詰め込み、自宅を出発した時のことが、昨日のことのように思い出されます。

実際の寮生活は慣れるまで大変だったようですが、親元から通う子たちに比べ一足早く自立した生活を経験出来たことは、将来とても役立つと思います。



卒業後は、関西の電気会社に就職し、そちらでも寮生活をする事になり、高校での三年間の寮生活で苦労したこと、経験したことなどが必ず活きてくると思います。

最後になりましたが、色々な経験、体験をさせてくださった、先生方、関係者の皆様方、大変お世話になりました。皆様方の協力のおかげで無事に次のステップに進むことができます。ありがとうございました。



PTA美化活動に参加することで

PTA副会長 久保 裕二

今年も猛暑のなか、保護者の皆様と教職員の皆様とPTA美化活動を行う事が出来ました。

八月末とは言え、まだ気温の高い中、早朝から多くの保護者や生徒の皆さんが参加し、グラウンド周りから法面の除草作業、校内の清掃活動を行いました。おかげをもちまして、校舎内、グラウンド、法面が大変きれいになりました。

生徒にとって多くの時間を過ごす学校ですが、校舎内が汚れや不要なもので乱雑になっていたり、敷地は雑草が蔓延し風通しの悪い状態だと、雰囲気も暗くなり、授業や部活動にも「やる気スイッチ」が入らないのではと思います。

翔陽高校は敷地が広く、除草作業や校舎内の清掃まで手の届かない所が多々あると思います。生徒、保護者が協力して集中作業を行い、気持ちの良い学校で二学期を迎えられたのではないかと思います。

今後もPTA美化活動が継続して行える事を願っています。



第66回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会

高知大会に参加して

PTA会員 牛尾 佑美

令和六年七月十二日(金)に高知県立県民文化ホールにて開催された、「第66回中国・四国地区高等学校PTA連合会高知大会」に、教頭先生・PTA会長とともに参加しました。

本年度のテーマは「はばたけ若人よ 郷土の天空へ ～みんなあゝが願いゆげよ！～」。この大会は毎年中国・四国の各県が輪番で大会を運営しており、担当となった県のPTA連合会が招待した講師による講演、高校生による学校内での活動、中四国内の高校のPTA活動発表が行われます。

今年度の講演・発表は左記の通りです。

【講演】

演題 「夢を叶えるジョンマンスピリット」

～初めて世界を見た日本人 ジョン万次郎～

講師 ジョンマン語り部 垣内守男氏

【高校生による発表】

- ・ 高知県立高知丸の内高等学校
- ・ 高知県立高知農業高等学校
- ・ 高知県立大方高等学校
- ・ 高知市立高知商業高等学校

【研究協議】

- ・ 山口県立下関双葉高等学校
- ・ 鳥取県立米子東高等学校
- ・ 高知県立高知国際中学校・高等学校

はじめに講演を聞きました。

ジョン万次郎には左記の時代があり、それぞれの時代を講師の垣内氏がユーモアを交えお話しくださいました。

- ① 体験時代（14～24歳） 無人島～アメリカ
- ② 実践時代（24～34歳） 武士身分、咸臨丸航海
- ③ 貢献時代（34～44歳） 英語教育、航海術、開成学校教授

（東京大学の前身）

講演の最後に「3D言葉（でも、だって、だけど）を捨てて、3C言葉（チャンス・チェンジ・チャレンジ）を、そして、とにかく一歩踏み出す」という言葉で締めくくられました。

次に、高校生による活動発表がありました。

・ 高知県立高知丸の内高等学校
「ふるさと」や「夕焼け」などの合唱や男子高生によるバイオリン演奏がありました。

・ 高知県立高知農業高等学校
企業との共同研究やICTを使った新しい農業への取り組みについて説明がありました。

・ 高知県立大方高等学校
南海トラフについて二〇二一年に発表された津波予想が34.4mという事を受け、高校生が主体となって「犠牲者ゼロ」を掲げた町ぐるみの防災訓練の取り組みが紹介されました。

・ 高知市立高知商業高等学校
「国際協力」と「地域貢献」を目的とした模擬株式会社を立ち上げ、全校生徒・保護者・教職員が株主となり活動を行っています。

取り組みとしては、「ラオス学校建設活動」「ジビエの活用・商品化・販

売」の2つについて紹介がありました。

「ラオス学校建設活動」では実際にラオスを訪問し、現地の民芸品などの商品を調達・販売し、その販売利益を学校建設資金に充てることで、この三十年間の活動を通して、九校もの小学校や幼稚園を開設した実績が紹介されました。

最後に、中四国の三校によるPTA活動報告がありました。

・山口県立下関双葉高等学校

開校して五年の学校で、昼間・夜間部と2部に生徒が在籍しており、普段顔を合わせる機会がない生徒や保護者がいます。そんな中でPTAを立ち上げ、卒業式の際に写真撮影用のフレームを作成するなど「できることをできるだけ」を合言葉にした活動の紹介がありました。

・鳥取県立米子東高等学校

進路セミナーや広報誌発行などの各専門部の活動紹介がありました。

また学校図書館解放事業として授業日には午後7時まで、土日祝日では午前9時から午後五時まで開放しているそうです。

・高知県立高知国際中学校・高等学校

進路セミナー、交通安全指導、生徒会ユニセフ支援活動のバザーや広報誌発行等の活動の報告がありました。

その他に会場のエントランスホールでは、高知県内の高校生が制作したお菓子やジュース等の販売がありました。

今回、初めて参加させていただきました。わが子と同じ高校生が、自ら考え、提案し、行動した活動内容とその成果を聞いて感心したと同時に、感動

すら覚えました。

そして、中国・四国地区より、会場が満席になるくらいとも多くの方が参加されており、皆さんのPTAに対する気持ちの強さを感じました。

来年度は島根大会です。高知大会から島根大会へカツオのバトンが引継がれました。

連合会の方がすでに準備を始めています。とても素晴らしい大会になると思いますので、ぜひ多くの方に参加し、盛り上げていただきたいと思います。

最後に、大会に参加させていただき、本当にありがとうございました。



第73回全国高等学校PTA 連合会大会 2024 茨城大会

大会テーマ 「歴史の町で変革を!!」

サブテーマ ～新たな時代が目に入らぬか～

【大会趣旨】

明日の日本そして世界を担う青少年が、豊かな心を育み、たくましく成長し、自立・活躍できる社会を実現することは、私たちの願いです。もちろん、多くの子どもたちも自分の夢や希望に向けて努力し、成長を遂げようとしていますが、一方で、少子高齢化やグローバル化、AIの進化による急激な社会の変化に伴い、子どもの規範意識の低下、ネット犯罪や貧困問題、ヤングケアラーなどを背景として、問題が多様かつ複雑になっており、学校や家庭だけでは対応できない課題が多くなっています。

中でもコロナ禍は、家庭や学校、地域教育の活動に甚大な影響を及ぼしました。オンライン授業や学校行事の中止、会話の抑制などにより、目と目を見て話すという人間本来のコミュニケーションや、それによって生じる絆を断ち切ってしまったのです。ウィズコロナ、アフターコロナの新たな時代に向けて、私たちは切れた絆を再構築しなければなりません。「親の背を見て子は育つ」と昔から言われてきましたが、背中を見せるのではなく、子どもの目を見て気持ちを伝え合おうではありませんか。

「予測困難な時代」に突入するなか、この変化に対応していくためには、学校及び家庭や地域においてどのような教育が求められるのか。暗中模索のトンネルの中でも、出口にたとえ小さくても灯りを見出すことができれば、新たな時代に向かって進むことができるはずです。その灯りを本大会で見つけていただければ幸いです。

幕末の動乱期に、水戸学は新たな時代明治維新に大きな影響を与えました。その水戸の地で、PTAの新たな取り組みに向けて話し合える機会を持つことができるのは、意義あることだと思います。

今後とも私たちは、予測困難な社会情勢の中においても、PTA活動の歩みを粘り強く進めていかなくってはなりません。すべての子どもたちが、自らの居場所を得て、自己有用感を高め、持てる力を十分発揮できるようになるための新たな時代のPTA活動を目指し、関係機関・団体との連携を一層密にした活動体制の充実強化に積極的に取り組める

大会となることを祈念し、ここに茨城大会を開催します。



- ◆期日 令和6年8月22日(木)～23日(金)
- ◆会場 全体会会場 アダストリアみとアリーナ
ザ・ヒロサワ・シティ会館〈中継〉
分科会会場

- 第1分科会 アダストリアみとアリーナ
- 第2分科会 ザ・ヒロサワ・シティ会館
- 第3分科会 水戸市民会館
- 第4分科会 ひたちなか市文化会館
- 第5分科会 小美玉市四季文化館みの〜れ

全国大会報告

第73回全国高等学校PTA連合会大会 2024

茨城大会に参加して

総務部 岡 晶史

「第73回全国高等学校PTA連合会大会 2024 茨城大会」が八月二十二日（木）と二十三日（金）の二日間実施され、本校を代表して参加しました。

本年度のテーマは「歴史の町で変革を!!」新たな時代が目に入らぬか」です。例年以上の猛暑の中、開催県の茨城県PTAの皆さんの温かいお迎えを受けながら、水戸市に入りました。全国から6000人が参加し、2日目の全体会では会場が二つに分かれ、第1会場の様子を第二会場に映し出す形で行われました。分科会と全体会それぞれの会場で、高校生による素晴らしいパフォーマンスが披露され、参加者はみな魅了されました。日程は次のとおりで、会場は水戸市および、ひたちなか市、小美玉市と茨城県中央部の各地に広がっていました。

●日程

（八月二十二日（木））各分科会（水戸市、ひたちなか市、小美玉市）

【五会場に分かれて同時進行】

↳分科会

第一分科会 「教育の過去・現在・未来」

↳故きを温ねて新しきを知る

講演Ⅰ 藩校「弘道館」の教育

弘道館事務所主任研究員 小坪のり子氏

講演Ⅱ もっと学校・教育がみんなに開かれる未来を展望する

茨城大学教育学部 教授 加藤 崇英氏

第二分科会 「保護者・教師・生徒が抱える問題と解決法」

↳新たな一歩を踏み出すために

講演Ⅰ のび太・ジャイアン症候群

司馬クリニック院長 医学博士 司馬 理英子氏

講演Ⅱ 18歳になったら気をつけること〜18歳になる前に

有馬総合法律事務所 弁護士 有馬 慧氏

第三分科会 「新・生きる力と家族の絆」

↳子どもの心に風邪を引かせない

講演 子育ては気力・体力・経済力

7男2女の大家族お母ちゃん 石田 千恵子氏

フリートーク（石田講師を交えて）

第四分科会 「みんなで考えよう、これからのPTA」

↳あるべき新しい姿とは

講演 PTAは学校づくりのパートナー

花園大学社会福祉学部 教授 炭谷 将史氏

第五分科会 「これからのコミュニティ・スクール」

↳地域社会との新たな連携・協働

講演 学校と地域とでつくるこれからの学校

ーコミュニティ・スクールとはー

文部科学省国立教育政策研究所

総括研究官 志々田 まなみ氏

グループトーク

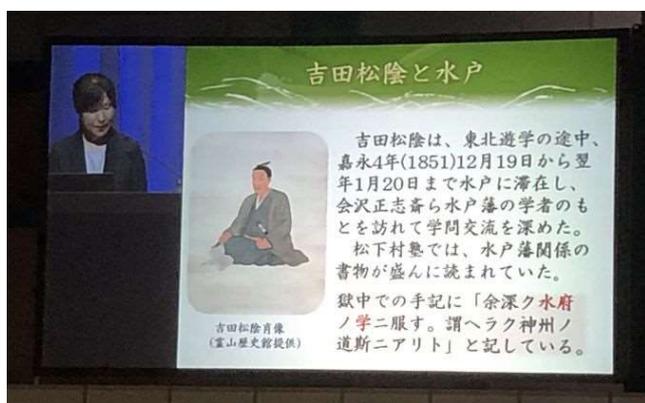


私は第一分科会に参加しました。

はじめに、『藩校「弘道館」の教育』というテーマで、弘道館事務所主任研究員の小坪のり子氏による基調講演がありました。二代藩主徳川光圀の時代から、歴史書『大日本史』の編纂をはじめとする文化事業に、力が注がれ、学問が奨励されてきた水戸藩の教育を背景に、幕末に多難な時局に対応できる人材の育成こそ、急務と考えて創設された藩校弘道館の紹介と、そこで行われてきた教育についてお話されました。その弘道館には、吉田松陰先生も訪れて、学問交流を深めたと紹介され、身近に感じながら、当時の人材育成の取り組みや、それを伝えるための、現在の保全活動や震

災からの修復の取り組みなどのお話を聴きました。

つづいて、『もっと学校・教育がみんなに開かれる未来を展望する』というテーマで、茨城大学教育学部に加藤崇英教授による基調講演がありました。藩校教育が過去の教育とすれば、現在・未来の教育はどのように展開していくのか。将来の変化を予測することが困難な時代を前に、新時代を生きる子どもたちに、私たちは何をしてあげられるのか。学校にはどのような役割が期待されるのだろうか。私たちは社会の変化に柔軟に対応しなければなりません。しかしながら、どんなに社会が変化しようとも、正義や公正、人権を尊重する心を育成することは、時代にかかわらず教育において変わることはありません。そういった教育の不易流行について様々な考えを巡らせつつ、子ども本位の教育をどのように進めていくべきかを考えていく講演でした。



（八月二十三（金））全体会（水戸市）約600人参加

【会場1】アダストリアみとアリーナ

【会場2】ザ・ヒロサワ・シティ会館

全体会

9..00～アトラクション

マーチングバンド・ステージドリル

茨城県立大洗高等学校

9..30～開会行事、表彰式

10..40～記念講演「人材育成の不易流行」

講師 二所ノ関寛氏（第72代横綱 稀勢の里）氏

12..00～閉会行事

●記念講演

「人材育成の不易流行」

講師 二所ノ関寛氏（第72代横綱 稀勢の里）氏

引退会見では、「私の相撲道において、一片の悔いもございません」と語り、土俵を去った第72代横綱・稀勢の里。目先の勝利を求めて小細工に走ることなく、正々堂々と真っ向勝負を挑む姿が全国の相撲ファンの心をわしづかみにしました。

15歳で角界入り後、新十両と新入幕をいずれも史上2位の若さで果たしました。横綱白鵬の連勝を63で止める大金星を機に更に飛躍し、25歳で大関昇進。多くの試練を乗り越えての初優勝、そして横綱昇進。大けがを負いながら奇跡の逆転V等、数々のドラマを土俵に刻んできました。

現役時代は多くを語らず、黙々と土俵に上がり続けた横綱が、引退して親方となった今、相撲部屋における人材育成の不易流行と相撲道について、



どのように考えて人を育てているか、テレビを通して見る姿と変わらない飾らない言葉で語られました。
 全国から集まったたくさんさんのPTAの関係の方たちと、一緒にとても有意義な二日間を過ごすことができ、大変勉強になりました。来年は三重県で全国大会が開催されます。

NEXT
おいないなあ
三重県!

2026 8月21日（土）～8月22日（日）
 サオリーナ / メッセウイング・あえ

2. 相撲部屋とは

- 相撲部屋の立地
 →45の相撲部屋が存在し、すべて関東地方（45件中37件が東京都内）にある。
- 全ての力士・親方・行司・呼出・床山はいずれかの相撲部屋に所属しており、部屋に所属していなければ本場所に出場できない。
- 多くの場合、各部屋は5人～15人程度の構成で親方を共にする。
 この形態は200年以上続いている相撲の伝統の一つ。
- 十両以上が「関取」と呼ばれ、一人前の力士。
 各部屋、関取の輩出を第一ステップとして育成している。

部屋	場所	親方	力士
大相撲協会	大相撲協会	大相撲協会	大相撲協会
大相撲協会	大相撲協会	大相撲協会	大相撲協会
大相撲協会	大相撲協会	大相撲協会	大相撲協会
大相撲協会	大相撲協会	大相撲協会	大相撲協会

島根県立益田翔陽高等学校

2024年度

翔陽祭

日程 2024/11/15(FRI).16(STU)

時間 8:45~14:00(15日)

9:00~14:50(16日)

場所 島根県立益田翔陽高等学校

普段の様子やイキイキした姿をご覧ください。



模擬店・PTAテント村



農産物・加工品販売



生徒会ステージ

お問い合わせ

島根県立益田翔陽高等学校

☎ 0856-22-0645

🏠 島根県益田市高津三丁目21-1



【1日目（15日）】

教室棟

- 1階：【アメリカンカフェ】【A3カフェ】【生き物展示】【華道展】
【G科の取り組みを展示】【プレスレットづくり】
- 2階：【竹灯籠の展示】【保健委員会の健康診断】【2年目のラブチェキ】【書作展】
【写真のパネル展示】
- 3階：【あなたが選ぶ「フラワーアレンジメントコンテスト」へようこそ】
【狩猟に関する啓発のための展示】【実習のまとめ】【A科環境土木コースの紹介】
【課題研究中間報告】【インターンシップ・先進地研修・県外研修の実施報告】
【地域とのふれあい事業での交流園児のサツマイモ絵画作品】
【BOOKde謎解き&古本市&POP展示】【家庭等での草花鉢物栽培】

工業棟

【お化け屋敷】【ロボット体験】

管理棟

【Shoyo Art Exhibition】

テント体育館

【電気科アミューズメントで得点を競え～組み合わせ自由 ペア・チーム対抗戦～】
【実習製作品販売】【射的】【イカ焼き】

体育館

【弦楽部・吹奏楽部演奏会】【神楽】

【2日目（16日）】

教室棟

- 1階：【アメリカンカフェ】【A3カフェ】【生き物展示】【華道展】
【G科の取り組みを展示】【砂絵アートを作ろう】
- 2階：【竹灯籠の展示】【あつまれおともだちの森～わくわくマリオフェスティバル～】
【書作展】【写真のパネル展示】【保健委員会の健康診断】
- 3階：【あなたが選ぶ「フラワーアレンジメントコンテスト」へようこそ】
【狩猟に関する啓発のための展示】【実習のまとめ】【家庭等での草花鉢物栽培】
【インターンシップ・先進地研修・県外研修の実施報告】【課題研究中間報告】
【地域とのふれあい事業での交流園児のサツマイモ絵画作品】
【BOOKde謎解き&古本市&POP展示】【A科環境土木コースの紹介】

工業棟

【お化け屋敷】【ロボット体験】

管理棟

【Shoyo Art Exhibition】

テント体育館

【電気科アミューズメントで得点を競え～組み合わせ自由 ペア・チーム対抗戦～】
【実習製作品販売】【射的】【イカ焼き】【おでん】【S科展】焼き芋【おにぎり】【金魚
すくい・クレープ】【PTAテント村】【焼き菓子】

体育館

【バンド・歌・ダンス】

農場

【農作物・加工品の販売】【うどん】

令和6年度「翔陽祭」 11月15日(金)～16日(土)







『翔陽祭名物焼きだんご』 ～本部役員テント～

PTA本部役員 安野 祐紀子

「昨年は売り切れて食べられなかった」「今年はだんご食べたい」そんな多くの声に、本部役員一丸となり、だんご一筋でいくことにした今回。本数を昨年より200本増やし、400本用意しての販売です。並べてみると、気が遠くなるほどの数でした。

しかし、開始前より、「おいしそう」「まだ買えませんか」「後で来るね」などと、だんごを楽しみに声をかけて下さる方々に、準備をしながらワクワクしてきました。

開村式が終わり、開店と共に驚くほどの長蛇の列が・・・!!それは、終わりが来ないのではないかと思ってしまうほどでした。

昨年とは違い、まとめ買いをされる方も多く、次々に捌かれる、ぷつぷりとふくらみ、焼き目のついたおだんごたち。焼きが間に合うか?と焦りながらも、抜群のチームワークで乗り切り、昨年に引き続き大繁盛となりました。時間いっぱいですべて完売しました。

次の役員にも引き継ぎやすいようにと、前役員さんの親切な提案により始まった焼きだんご。昨年の反省を基に、販売をしていた生徒たちにも食べてもらえるように、本数や時間を変更して臨んだ今回。まだまだ、効率の良い動線など、改良点は出てきましたが、役員みんなでより良くしようと思いを出し合いながら楽しく過ごしたこの時は、かけがえのない思い出

となりました。

来年もまた、皆さまに喜んでいただける、真の「翔陽名物焼きだんご」にするべく、この活動を続けていけたらと思っています。

今年で翔陽高校生活最後の皆様、来年も、心を込めてだんごを焼き、お待ちしております。

ありがとうございました。





翔陽祭テント村

益田・美都・真砂地区会長 齋藤 紀貴

今まで翔陽祭に参加したのは昨年が初めてであり、長年続いている翔陽祭のテント村に地区の会長として参加することが、自分にできるのかなと少し不安でもありました。

まず、最初の会議の際に出席者が少なかったですが、ラインのチャットルームを開設し、地区の皆さんと連絡を取れるように変更し、できるだけ会議を開く回数をなくしていくようにしてみました。(手紙などで参加のお願いをしてみました。参加人数はあまり増えませんでした。・・・)当日ものテント村の内容も昨年と同じで「お菓子の詰め放題」に決定し、事前準備なども昨年の方にお聞きして、駄菓子などを数人で見に行きましたが、その店員の方に、いろいろと良くしていただき、昨年よりも金額を安くして、数量も昨年同様にそろえることができ、本番当日を迎えるだけとなりました。

当日の準備は、他の地区は飲食などの提供のため忙しそうでしたが、この地区は割と早く準備も終わり、テント村の開催までは翔陽祭を楽しむこともできました。

いざテント村が開始となると、小さな子供たちや高校生も多く参加してもらって無事に翔陽祭を終えることができました。

また、自分は小学校の用事があり、片付けなど最後まで参加することができませんでしたが、協力参加していただいた保護者の皆様には本当に感謝です。このような学校・地域の方が楽しみにしている翔陽祭にかかわることができ、ありがとうございます。



翔陽祭がこれからも長く続いていくことを願っています。



翔陽祭テント村に思う

吉田地区会長 岡 淳司

会長になるとは、夢にも思っただけだったので、翔陽祭を体験しておけば良かったと後悔しました。我家の子供達は皆、翔陽高校に通わせていただきましたが、私の中の吉田地区でのテント村は、もちつきのイメージではなく「白玉ぜんざい」の販売、しかも工業棟での開催というので正直？でした。3月に引き継ぎをして、まあなんとかなると思っていたのですが、・・・あつという間に時が過ぎ、あわてて会議を行いました。昨年参加された方々の話と資料を確認し、中身を把握しました。直前に買い物をしてなんとか間に合わせた感じです。

テント村当日は、保護者の方にご協力いただき、白玉ぜんざいを販売しました。参加していただいた保護者の皆様、感謝です。売り始めはなかなか数が出ませんが、しだいに生徒さん、一般の方、保護者の方にお越しいただき、百四十五杯を販売しました。ただ、材料をうまく配分すればもう少し多く、販売出来たかなと反省しました。それでもおいしそうに白玉ぜんざいを食べている人々の顔を見る事が出来て良かったと思っています。

今回のテント村を無事に終えることができたのは、食べに来てくれた方々はもちろんの事、吉田地区の保護者の皆さんのおかげです。初めての方も経験のある方も段取り良く作業をしていただきました。改めてお礼申し

上げます。

これから先も翔陽祭、テント村はずっと続いていくでしょう。PTA A吉田地区の活動も続いていくでしょう。皆さんの協力が無いと成り立ちません。より良いPTA活動、より良いテント村が行なわれる事を願っています。





翔陽祭PTAテント村を終えて

高津地区会長 竹内 登世樹

二年間連続して高津地区会長を務めていた前任の方から、今年度より地区会長を担うことになりました。こういった役自体が初めてだったため、何から手をつけていいのか全く分からないことが多く、不安だらけでした。しかし、前任の方からアドバイスをいただいたり、保護者会の集まりで地区の皆さんから様々なご意見をいただきました。そして、当日は天気にも恵まれて無事に迎える事ができました。

保護者会にて販売内容を決める際、「高津地区は例年シュークリームだから」と郷に入っては郷に従えということで、シュークリームと飲み物に併せて、今年度はパプリカや干し柿といった農産物も一緒に販売しました。販売開始前から終了時前まで、たくさんの方がシュークリームを買われていき、中には「毎年楽しみなんだ」という方を目の当たりにして、一つの高津地区の伝統なんだなと感銘を受け、有難いことだと思いました。

当日どれほどの方がお手伝いに来てくださるか、どれほどの方に購入してもらえるのか不安でしたが、おかげ様でたくさんの方に手伝っていただき、お店の外にまで出て販売もして下さりほとんど完売となりました。この場をお借りして、今回お手伝いしていただいた保護者の方々に深く感謝を申し上げます。

翔陽祭ならではの活気に触れて、普段交流のない当地区や他地区の保護

者とふれあい、そしてご支援をいただき、とても充実した一日となりました。

子ども達のためのPTAテント村ですが、地域でのふれあいの大切さも気づかせてくれる大切なイベントだと思います。後の役員になられる方々も、その伝統を大切に継承してもらえるといいなと思います。





翔陽祭を終えて

安田・鎌手地区会長 野村 知子

昨年度の地区総会を欠席してしまった私。次期役員選出について会長に委任します。と伝えた。とはいえ、自分に役員が当たることなんてないだろう。そう思っていました。家に帰ると会長さんからの電話。

「くじで来年度会長が当たりましたが、お願いできますか？」と会長さん。(うそでしょ？ 保護者さんとの交流もあまりないし…文化祭にも仕事の都合で参加していないし…無知な私に会長職なんてできますか?)という思いが一番。でも…立候補もなくくじでの選出、会長さんに委任して決まったこと。(断れない。断ったら会長さんも困るだろうし…)と思いました。「副会長や本部役員さん、前会長も一緒に協力しますので。」その言葉を信じ、覚悟を決めて不安でしかない会長職を受けることにしました。

緊張した新年度の役員会。翔陽祭でのテント村出店について内容の変更をせず、同じものを出店することを提案し、皆さんから同意を頂きました。そのおかげで、準備も昨年を参考にして行うことができました。食材の調達・道具のレンタル等大変なところをほとんど前会長さんがして下さり本当にありがたかったです。

翔陽祭当日まで不安でした。でも、いざお店が始まるとたくさんのお客さんが来てくれました。そして、参加して下さった保護者さんの流れるチームプレー! あっという間に200食が売り切れました。不安は吹き飛び、

楽しいテント村の時間を過ごすことができました。

皆さんからたくさん協力を頂いて翔陽祭のテント村を無事に終えることができました。また、会長職を務めることができたのも地区の保護者さんのおかげだと思っています。

来年の翔陽祭も楽しみたいと思います。
ありがとうございました。





翔陽祭PTAテント村

中西地区会長 豊田 真由美

令和六年十一月十六日、天候にも恵まれ、翔陽祭テント村を開催されましたこと、お慶び申し上げます。中西地区は恒例の焼き鳥販売で参加させていただきました。

コロナの騒動があり、テント村が再開されてから三年目。一年目の時は、若干、制限がありつつの再開でしたが、今年度は何の問題もなく、以前のようなテント村を開催できたことを、大変うれしく思いました。生徒さん達のにぎやかな笑い声が飛びかう光景に安堵した次第です。

焼き鳥販売も毎年、好評を頂いていたので調子に乗って数を大幅に増やして、挑む覚悟でいったのですが、あっという間に完売となり、ごめんなさいとありがとうございますと複雑な心境で終わった一日でした。

無事に終えられたこと。これも偏に保護者の方々のご協力なくしてはできなかつたことだと思えます。ご都合をつけてご協力して下さった皆様に感謝しかありません。ありがとうございます。

生徒のみなさんの翔陽祭という思いでの一コマに参加することができて良かったです！

みんなに幸あれ！





PTAテント村を通して感じたこと

小野・萩地区会長 岩崎 正子

私が初めて翔陽高校のPTAテント村を知ったのは、令和四年度の翔陽祭でした。二女が三年生の時に、コロナウイルス感染症の影響で、中止されていたPTAテント村が再開された年でした。全く何をしてよいかかわらず、お手伝いを少ししただけでした。

そんな私が、会長を務めることになり、今年度は萩・小野地区は、テント村はやめようかなと思うほど不安でした。しかし、地区の保護者会を行って行く中で、皆様の意見から、萩地区からは、EGFさんからのフルーツと、小野地区からは、フルール益田さんのミニトマトを販売することになりました。おかげで、完売することが出来ました。他に、須佐中学校の生徒さんがデザインしたエコバックや、フルール益田さんの手作り小物も販売することができました。

この度、地区会長をすることで、いろいろな保護者さんを知る機会となり、それぞれの地区で子供さんがなくなっていることを知りました。PTAテント村を行うことは、地域の企業のアピールや活性化に繋がる活動だと思いました。しかし、人が少なくなると、様々な困難な状況にもなっていくのではないかと思います。

今年度、無事にPTAテント村を終えることができたのは、地区の副会長及び、保護者様のおかげだと感謝しております。この場をお借りし、萩・

小野地区の保護者様に感謝を申し上げたいと思います。ご協力、本当にありがとうございました。





大盛況のテント村

西益田・匹見地区会長 石橋 拓海

去年一昨年と、アイスクリームとフルーツを販売しましたが、天候に左右されたり、準備物などの負担を考え、今年の西益田・匹見地区の翔陽祭PTAテント村は、のぞみの里さんにご協力いただき、パン販売をさせてもらうことにしました。

初の試みなので、何個ぐらいのパンを用意するか悩んだ末、350個販売することに決めました。のぞみの里さんからは、「そんなに用意して大丈夫ですか？」と言われ、少し心配でしたが、覚悟を決めて購入させていただきました。地区集会を一度も開かずに決定したので、どうなるか少し不安もありましたが、仕入れたパンをそのまま売ればよいので、準備物も少なくゴミも出ず、個包装なので、衛生的で、参加された保護者の方に喜んでもらい安心しました。

昨年も大盛り上がり西益田・匹見地区テント村でしたが、今年も引き続き、笑いあいの楽しいテント村になりました。6年間の翔陽高校にお世話になりましたが、今年で終わりと思うとさみしいです。子どもがいなかったら、話すこともないであろう方たちとの出会い、高校の同級生と保護者としての再会、くじ引きで受けた地区役員ですが、引き受けてみて良かったです。来年の役員の方も、すんなりと引き受けていただきありがとうございます。

最後にご協力頂きました皆様、無事に終わることが出来ました事を心



より感謝も仕上げます。



翔陽祭PTAテント村を終えて

鹿足地区会長 永見 友美

今年度PTA役員として微力ですがお手伝いをさせて頂きました。

PTA行事の中でも翔陽祭でのテント村は、特別胸躍る行事でした。

私たち鹿足地区は保護者の住まいが広域に渡り頻繁に会議をすることが難しく、テント村での出店や出品内容など、SNSを使いながらでの相談と成りました。それでも内容最終決定時には集まっていたいただきました。皆さんお忙しい中で有ったかとは思いますが、ほぼ全家庭の保護者の皆様に出席頂き、大変心強く思うと共に保護者同士の顔が見える良い機会になった事が非常に嬉しかったです。

内容は前年度と同じ焼き菓子と新たにホットコーヒーの販売を行いました。大変好評で終了時間を待たずに焼き菓子の販売を終え、ホットコーヒーも予定数は売り切れませんでした。思った以上に販売出来た事は保護者全員で喜んだ所です。

保護者同士、普段あまり接点が無く寂しい気持ちでしたが、PTAテント村の準備や当日を通して、同地区保護者だけで無く、他地区との交流が出来た事、全ての参加保護者が一つに成れたように感じました。

一人一人の保護者さんが、子供の為に翔陽祭を盛り上げたい、三年しかない高校生活の思い出の為に何が出来るだろうと始まったテント村だと思えます。これからも翔陽祭PTAテント村が末永く続く事をお祈りして

おります。

今年度ご協力頂いた鹿足地区保護者の皆さん、大変ありがとうございました。

また忙しい中、翔陽祭の準備をされました先生方、生徒会、生徒の皆さん、PTA役員の皆様大変お疲れ様でした。



編集後記

今年度、翔陽高校のメインイベントである翔陽祭が盛大に開催されました。

特に、昨年に引き続きテント村がスムーズに開催出来たのも、経験がある役員や保護者の方のお陰だと、大変有難く感じました。本当にありがとうございます！改めて、みなさんの生徒やPTA活動に対する思いを感じることができました。

そして、皆様のご協力により、「飛翔」を発行する事ができ、広報委員としても大変嬉しく思います。この、飛翔を通して多くの方がこのような活動をしていると言う事に興味を持って貰えれば幸いです。

これからも翔陽高校のPTA活動がより良い方向に進んで行く為に、これまでの伝統を受け継ぎながら時代にあった新しい形に行けるよう、今後益々発展を心より願っております。

(花房律子 記)

広報委員会	委員長	寺戸 慶子
委員	築迫 裕子	
委員	花房 律子	
委員	安野祐紀子	
委員	俵 正光	
委員	内村 実	
委員	大原 和美	

飛翔

令和7年2月29日 印刷

令和7年3月 1日 発行